

第91回規格会議の結果

3月18日（火）に、第91回規格会議を東海大学校友会館（霞が関ビル）において開催しました。今回は標準規格の策定2件、改定20件、技術資料の改定5件、UWB作業班の設置が提案のとおり決議されました。標準規格、技術資料の策定及び改定の概要は以下のとおりです。



第91回規格会議の様子

第91回規格会議 標準規格及び技術資料の策定及び改定の概要

規格番号	規格名	概要
ARIB STD-T56 3.2版	携帯型無線端末の比吸収率測定法標準規格	本標準規格は、携帯電話等の携帯型無線端末について局所吸収指針に対する適合性を評価するための標準測定法を定めたものであり、この測定法は携帯電話端末に類似したばく露形態を持つ各種無線機器や端末に

規格番号	規格名	概要
		<p>対しても応用することができるものである。</p> <p>今回の改定は、総務省令が改正されたことに伴い、人体側頭部を除く人体に近接して使用する無線機器の測定法について改定を行うものである。</p>
ARIB STD-T63 Ver.10.30 及び ARIB TR-T12 Ver.10.30	IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report	<p>本標準規格及び技術資料は、IMT-2000 DS-CDMA 及び TDD-CDMA システムに関するものであり、第 90 回規格会議（2013 年 12 月開催）において 2013 年 9 月までに 3GPP が制定したリリース 4 からリリース 11（LTE-Advanced 仕様は含まない。）までの仕様及び技術資料をベースに Ver. 10.20 へ改定された。</p> <p>今回の改定は、2013 年 12 月までに 3GPP が制定したリリース 4 からリリース 11（LTE-Advanced 仕様は含まない。）までの仕様及び技術資料に対応するように改定するものである。</p>
ARIB STD-T64 Ver.6.60 及び ARIB TR-T13 Ver.6.60	IMT-2000 MC-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report	<p>本標準規格及び技術資料は、IMT-2000 MC-CDMA システムに関するものであり、第 90 回規格会議（2013 年 12 月開催）において 2013 年 7 月までに 3GPP2 が制定した仕様及び技術資料をベースに Ver.6.50 へ改定された。</p> <p>今回の改定は、2013 年 11 月までに 3GPP2 が制定した仕様及び技術資料に対応するように改定するものである。</p> <p>なお、技術資料 ARIB TR-T13 については、新規規格の追加や既存規格の改定はないが、ARIB STD-T64 のバージョンアップに合わせてバージョンを Ver.6.60 に改定するものである。</p>
ARIB STD-T71 6.1 版	広帯域移動アクセスシステム（CSMA）標準規格	<p>本標準規格は、2000 年 12 月 14 日の第 34 回規格会議で 1.0 版が策定され、その後の規格会議を経て、6.0 版に改定されている。</p> <p>今回の改定は、その後、5.0 版及び 6.0 版に係る必須の工業所有権の実施の権利に係る確認書の提出があったので、これらを追加するものである。</p>
ARIB STD-T94 Ver.3.1	OFDMA Broadband Mobile Wireless Access System (WiMAX™ applied in Japan) ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、2007 年 12 月 12 日の第 68 回規格会議で Ver. 1.0 が策定され、その後の規格会議を経て、Ver. 3.0 に改定されている。</p> <p>今回の改定は、その後、Ver. 3.0 に係る必須の工業所有権の実施の権利に係る確認書、レファレンスの提出があったので、これらを追加するものである。</p>
ARIB STD-T95 Ver.3.1	OFDMA/TDMA TDD Broadband Wireless Access System (XGP) ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、2007 年 12 月 12 日の第 68 回規格会議で Ver. 1.0 が策定され、その後の規格会議を経て、Ver. 3.0 に改定されている。</p> <p>今回の改定は、その後、Ver. 3.0 に係る必須の工業所有権の実施の権利に係る確認書、レファレンスの提出があったので、これらを追加するものである。</p>

規格番号	規格名	概要
ARIB STD-T104 Ver.2.30	LTE-Advanced System ARIB STANDARD	<p>本標準規格は、いわゆる第 4 世代携帯電話システムである IMT-Advanced System に関する 2 つの標準規格の内の 1 つである LTE-Advanced System に関するものであり、第 90 回規格会議（2013 年 12 月開催）において 2013 年 9 月までに 3GPP が制定したリリース 10 からリリース 11 までの LTE-Advanced 仕様をベースに Ver.2.20 へ改定された。</p> <p>今回の改定は、2013 年 12 月までに 3GPP が制定したリリース 10 からリリース 11 までの LTE-Advanced 仕様に対応するように改定するものである。</p>
ARIB STD-T112 1.2 版	特定ラジオマイクの陸上 移動局の無線設備（テレビ ホワイトスペース帯、 1.2GHz 帯）標準規格	<p>本標準規格は、無線設備規則第 49 条の 16 に規定される特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備及び無線設備規則第 49 条の 16 の 2 に規定されるデジタル特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、総務省における制度整備（無線設備規則改正、2013 年 8 月）に対応するため、デジタル特定ラジオマイクの技術的条件の改定等を行うものである。</p>
ARIB STD-B58 1.0 版	超高精細度テレビジョン 信号スタジオ機器間イン タフェース規格標準規格	<p>本標準規格は、超高精細度テレビジョン方式スタジオ規格標準規格(ARIB STD-B56 1.1 版)で規定される映像データ及び補助データを伝送するために必要となる機器間インタフェースに関する標準規格を規定するものである。</p> <p>今後、4K/8K の超高精細度テレビジョンの試験放送及び本放送の実施が予定されており、本標準規格は、それらの放送に必要な番組制作機器、送出装置等の信号の受渡しに関する設計に使用されるものである。</p>
ARIB STD-B59 1.0 版	三次元マルチチャンネル 音響方式スタジオ規格標 準規格	<p>本標準規格は、5.1 チャンネルステレオ音響を超える三次元マルチチャンネル音響方式における基本パラメータ及びスタジオ内で使用する音響信号等について、規定するものである。</p> <p>この方式による番組制作及び番組交換が円滑に実施されることを目的としており、超高精細度テレビジョンの音声方式に応用されるものである。</p>
ARIB STD-B10 5.3 版	デジタル放送に使用する 番組配列情報標準規格	<p>本標準規格は、デジタル放送の番組配列情報の構成、データ構造及び識別子の運用基準について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、99MHz を超え 108MHz 以下の周波数の電波を使用する地上基幹放送局を用いて行うマルチメディア放送のうちセグメント連結伝送方式によるもの（以下、V-Low マルチメディア放送。）に関する省令・告示に基づく追加規定を行うと共に、V-Low マルチメディア放送サービスの番組を構成す</p>

規格番号	規格名	概要
		<p>る素材の種別、素材名、素材コード、関連情報へのリンク等の基本情報を記述する素材情報伝送記述子を規定する改定を行うものである。このほか、既存規定の明確化や参考文献の更新を行う。</p>
<p>ARIB STD-B21 5.4 版</p>	<p>デジタル放送用受信装置標準規格（望ましい仕様）</p>	<p>本標準規格は、デジタル放送用受信装置の基本的な機能、定格及び性能を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、デジタルテレビ受信機の双方向通信機能のセキュリティ通信で使用するハッシュ関数のアルゴリズムの変更（SHA-1 から SHA-2 へ）に伴い、現在規定している暗号化プロトコルを TLS1.0 から TLS1.2 に変更する必要があるため、本標準規格の関連箇所を見直す（バージョンの削除を行う）ものである。</p>
<p>ARIB STD-B22 2.1 版</p>	<p>地上デジタル放送用デジタル STL/TTL 伝送方式標準規格</p>	<p>本標準規格は、放送局で使用する番組中継用デジタル回線のうち地上デジタルテレビジョン放送及び VHF-Low 帯を使用するマルチメディア放送の番組伝送用のデジタル STL/TTL に関する伝送方式を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、新たに対象となった 99MHz を超え 108MHz 以下の周波数を利用するセグメント連結伝送方式によるマルチメディア放送（以下、V-Low 地上マルチメディア放送）に関する規定を追加するものである。あわせて、本標準規格に関連する他の標準規格を追記するとともに、参照する省令の修正及び明確化を行うものである。</p> <p>また、V-Low 地上マルチメディア放送の規定の追加に伴い、本標準規格の日本語名及び英語名の変更を行う。</p>
<p>ARIB STD-B24 5.9 版</p>	<p>デジタル放送におけるデータ放送符号化方式と伝送方式標準規格</p>	<p>本標準規格は、デジタル放送におけるデータ放送の符号化方式及び伝送方式を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「放送通信連携サービス」を実現するため、第二編及び第四編の中の「アプリケーション制御方式」に関する規定の見直し及び明確化。（第二編、第四編） 2 デジタル放送におけるセキュア通信方式に用いられている SHA-1 アルゴリズムが SHA-2 アルゴリズムへ移行するため、SHA-2 アルゴリズムに対応する TLS1.2 を利用可能とする改定。（第二編、第三編）
<p>ARIB STD-B31 2.2 版</p>	<p>地上デジタルテレビジョン放送の伝送方式標準規格</p>	<p>本標準規格は、地上基幹放送局を用いて行う標準テレビジョン放送のうち、地上デジタルテレビジョン放送の伝送方式について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、総務省告示の改正を受けて、準拠す</p>

規格番号	規格名	概要
		<p>る告示の改定を行うものである。あわせて、誤記の修正及び表記の統一を行うものである。</p> <p>本標準規格 2.2 版については、別途、英語翻訳版を作成して公開する予定である。</p>
<p>ARIB STD-B32 2.9 版</p>	<p>デジタル放送における映像符号化、音声符号化及び多重化方式標準規格</p>	<p>本標準規格は、3 部から構成されており、第 1 部はデジタル放送における映像信号と映像符号化方式を規定、第 2 部はデジタル放送における音声信号と音声符号化方式を規定、第 3 部はデジタル放送における伝送信号の多重化方式を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、99MHz を超え 108MHz 以下の周波数を使用する地上基幹放送局を用いて行うマルチメディア放送のうちセグメント連結伝送方式によるもの（以下、V-Low マルチメディア放送。）の追加等の省令及び告示の改正を受けて、本標準規格が省令・告示と整合するように改定を行うものである。</p>
<p>ARIB STD-B45 3.0 版</p>	<p>デジタル放送におけるダウンロード方式標準規格</p>	<p>本標準規格は、デジタル放送におけるダウンロード型方式サービスについて規定したものであり、第 1 部の「高度広帯域衛星デジタル放送におけるダウンロード方式」、第 2 部の「セグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送のダウンロード方式」の 2 部構成となっている。</p> <p>今回の改定は、新たに VHF-Low 帯でセグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送を行うための省令・告示の改正がなされたことを受けて、第 2 部を「VHF-High 帯に適用するセグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送のダウンロード方式」に名称変更し、第 3 部を「VHF-Low 帯に適用するセグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送のダウンロード方式」として追加するものである。</p>
<p>ARIB STD-B46 2.0 版</p>	<p>セグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送の伝送方式標準規格</p>	<p>本標準規格は、移動体・携帯端末向け地上マルチメディア放送のうち、セグメント連結伝送方式によるもの（ISDB-Tmm 方式及び ISDB-Tsb 方式の地上マルチメディア放送）の伝送方式を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、総務省令等の改正を受けて、新たに第 2 部として VHF-Low 帯を使用する ISDB-Tsb 方式の地上マルチメディア放送の伝送方式を追加するとともに、既存の規格は第 1 部として VHF-High 帯を使用する ISDB-Tmm 方式の地上マルチメディア放送の伝送方式を規定するものとし、準拠する省令等の改定を行うものである。あわせて、誤記の修正及び表記の統一を行うものである。</p>
<p>ARIB STD-B53 1.3 版</p>	<p>セグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送用受信装置標準規格（望ましい仕様）</p>	<p>本標準規格は、移動体・携帯端末向け地上マルチメディア放送のうち、13 セグメント及び 1 セグメントのセグメント連結伝送方式によるものに関し、その受信装置の基本的な機能、定格及び性能を規定したものである。</p> <p>今回の改定は、総務省の省令及び告示の改正を受け</p>

規格番号	規格名	概要
		<p>て、関連文書、用語等の修正を行うものである。また、全体的に章構成等の変更、記載内容の補足及び見直し等を行うものである（規定内容の変更を行うものではない。）。</p>
<p>ARIB STD-B55 1.3 版</p>	<p>エリア放送の伝送方式 標準規格</p>	<p>本標準規格は、地上一般放送局が行うエリア放送（UHF 帯の周波数のうちホワイトスペースを使用し、一つの市区町村の一部の区域のうち特定の狭小な区域における需要に応えるための放送）の伝送方式について規定したものである。</p> <p>今回の改定は、総務省告示の改正を受けて、準拠する告示の修正を行うものである。あわせて、誤記の修正及び表記の統一を行うものである。</p>
<p>ARIB STD-B56 1.1 版</p>	<p>超高精細度テレビジョン方式スタジオ規格標準規格</p>	<p>本標準規格は、超高精細度テレビジョン方式スタジオ規格のシステムパラメータについて規定したものである。まもなく超高精細度テレビジョン方式の試験放送が開始される予定であり、本標準規格は、そのための番組制作に使用される制作機器の設計等に使用されるものである。</p> <p>今回の改定は、システムパラメータについて、フレーム周波数 120/1.001 Hz の追加、及びガンマ補正の特性式における α、β の算出方法や意味合いを示す説明文の追加を行うとともに、関連文書に SMPTE 規格の追加を行うものである。</p>
<p>ARIB STD-B57 2.0 版</p>	<p>1.2GHz/2.3GHz 帯テレビジョン放送番組素材伝送用可搬形 OFDM 方式デジタル無線伝送システム標準規格</p>	<p>本標準規格は、マラソン中継に代表される中継車等から受信点までの移動伝送や、中継現場等から基地局までの固定伝送に使用される FPU の無線伝送システムである、テレビジョン放送番組素材伝送用可搬形無線伝送システムについて規定したものである。</p> <p>今回の改定は、送信数が 2 以上の MIMO-OFDM 方式デジタル無線伝送システムに関する無線設備規則の一部を改正する省令に基づき、追加規定を行うものである。このほか、既存規定の明確化や参考資料の追加を行う。</p>
<p>ARIB TR-B14 5.5 版</p>	<p>地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料</p>	<p>本技術資料は、地上デジタルテレビジョン放送の放送局での運用及び地上デジタルテレビジョン放送受信機の機能仕様をとりまとめたものである。</p> <p>今回の改定は、双方向通信のセキュリティ機能で用いるハッシュ関数の追加・削除に伴い、運用概要、第三編（データ放送運用規定）、第六編（双方向通信運用規定）を改定するとともに、AIT コントロールドアプリケーション連携機能（フェーズ 1）に関する明確化等のために第三編を改定し、第三編のページ数増加に伴って分冊化を行い、デジタル放送受信機におけるリモート視聴機能の追加のために第八編（コンテンツ保護規定）を改定するものである。</p>

規格番号	規格名	概要
ARIB TR-B15 6.4 版	BS/広帯域 CS デジタル 放送運用規定技術資料	<p>本技術資料は、BS デジタル放送の放送局及び広帯域 CS デジタル放送の放送局での運用並びに BS デジタル放送受信機及び BS・広帯域 CS デジタル放送の共用受信機の機能仕様をとりまとめたものである。</p> <p>今回の主な改定は、双方向通信のセキュリティ機能で用いるハッシュ関数の追加・削除、委託放送事業者の名称変更、委託放送事業者の衛星基幹放送業務認定の内容変更に伴う改定及びデジタル放送受信機の機能仕様にリモート視聴機能の追加を行うものである。</p>
ARIB TR-B33 2.0 版	VHF-High 帯に適用する セグメント連結伝送方式による地上マルチ メディア放送運用規定 技術資料	<p>本技術資料は、207.5MHz 以上 222MHz 以下の周波数の電波 (VHF-High 帯) を使用する地上基幹放送局を用いて行う地上テレビジョン放送及びセグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送 (ISDB-Tmm 方式) の運用を規定するものである。</p> <p>今回の改定は、総務省令の一部改正により ISDB-Tmm 方式による地上テレビジョン放送が標準方式に追加されたことに伴う改定、2015 年 4 月に予定されている追加参入事業者を見据えた識別子運用に関する規定の追加等を行うものである。</p> <p>なお、今回の改定では、VHF-Low 帯での「セグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送」との区別を明らかにするため、本技術資料の名称を「VHF-High 帯に適用するセグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送」と改め、版数も 2.0 版とする。</p>

今週の ARIB 内会議スケジュール (3 月 24 日～3 月 28 日)

- 3月26日 (水) : 技術委員会 (放送分野)
: 放送新技術調査研究会
- 3月27日 (木) : CJK HoD アドホック会合 (電話会議)
- 3月28日 (金) : 高度無線通信研究委員会 モバイルコマース部会

編集後記

このところ、すっかり暖かくなって、東京では今週中にも桜が開花しそうですが、本号発行日 3 月 24 日は「桜田門外の変」が起きた日です。記憶にある映画のシーンでは雪が降っていたように思ったので、こんな時期に雪なんて演出の作り話かと思ったのですが、事実上も雪が降ったとのことでした。150 年あまり前の話ではありますが、ここ 50 年くらいの東京の降雪日を累計してみると 3 月にも 120 日は降っているとのこと。2 月でも 200 日弱のようですので、3 月の雪も珍しいものではないようです。

(K.I.)

ARIB

Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
http://www.arib.or.jp E-mail arib_news@arib.or.jp